

## CP 特集 第1回

## 「キャリア・パスポート」導入に向けて ～「キャリア・パスポート」の理解～

「キャリア・パスポート」が次年度よりスタートします

学習指導要領の改訂（小・中・高等学校及び特別支援学校における学習指導要領特別活動第2〔学級活動・ホームルーム活動〕の3内容の取扱い（2）に「キャリア・パスポート」の活用が明記）にともない、キャリア教育のさらなる充実を図るために「キャリア・パスポート」を活用した教育活動が小学校・中学校・高等学校において、令和2年度よりスタートします。そのため、Supportでは3回にわたって特集を組み、「キャリア・パスポート」(CP)について詳しくお知らせします。

「キャリア・パスポート」とは…

学校、家庭及び地域における見通し（目標・努力事項）や振り返り（変容や成長の様子）が記録され、蓄積できるいわゆるポートフォリオ的な教材を「キャリア・パスポート」と呼びます。



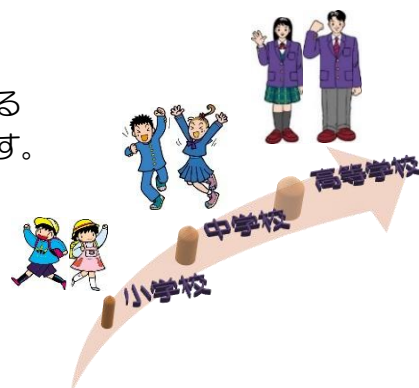
学校



家庭



地域



「キャリア・パスポート」は、小学校、中学校、高等学校と校種を超えて12年間活用します。

### 「キャリア・パスポート」を導入する意義



#### ①学校教育全体をつなげる

児童生徒が、すべての教育活動において「なりたい自分」になるために、見通しを立てて臨み、振り返りをする中で、自己の変容や成長を実感し、新たな学びへ意欲を高めます。

#### ②小・中・高と校種をつなげる

学年、校種を超えて、折に触れて自身の学びの過程を俯瞰することで、系統的なキャリア形成を進めていくことができます。

#### ③児童生徒理解につなげる

児童生徒にとっては自己理解を深め、教師にとっては児童生徒の記述をもとに、個々に対話的にかかわることで児童生徒の成長を促すことができます。